

# ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

地域で活発な活動団体を紹介します！



第9号  
平成28年6月発行

清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部環境生活政策課  
ぎふ地域の絆づくり支援センター  
〒500-8570  
岐阜市藪田南2-1-1 (県庁6階)  
電話 058-272-8199



## 17 土岐市高山城高山宿史跡保存会

事務局：〒509-5121 土岐市土岐津町高山375  
会長：西尾 正之  
会員数：130名

### 地区・保存会の概要

岐阜県土岐市は平安時代に美濃源氏がこの地を領土として以来多くの武将が活躍し、高山城は戦国時代に激しい合戦が繰り広げられた場所でもある。また、城下であった高山地区は江戸時代に徳川幕府直轄の天領となり、尾張名古屋と中山道を結ぶ「下街道」の「高山宿」として栄えるなど、歴史的に重要な役割を果たした。

しかし、地場産業である陶磁器産業の発展に伴い宿場町としての伝統的な町並みが失われ、その陶磁器産業も国内需要の低迷等により生産高、業者数が減少した。加えて少子高齢化の進行とともに地域の活力の低下が見られ、地域の絆や郷土への愛着心も薄れてきていた。

失われつつある地域の歴史遺産を残したいという思いを持った有志により高山城跡周辺の整備を行う活動が始まり、平成23年4月に高山区自治会役員をはじめ多くの住民によって「高山城高山宿史跡保存会」が設立された。保存会では、官民協働の「歴史と文化を活かしたまちづくり」を行い、全世代が一丸となって地域の絆の再生、人々の生き甲斐の創出、さらには子供たちの故郷への愛着心を醸成することを目的に活動を行っている。

### 主な活動とその特色

#### ●歴史文化の検証および史跡の保存

地域の歴史文化の検証や史跡の保存活動を行っている。具体的には、山城であった高山城跡に「物見櫓」を、下街道沿いには江戸時代の建物を再現した「高山区民会館」をそれぞれ建設した。また「案内看板」や「史跡解説看板」、高山宿と記した木製の「灯籠」を数多く設置するなど町並みの整備を進めた。

#### ●歴史遺産の次世代への伝承

歴史講演会の実施、「丸茂むね」など高山宿出身の著名人の回顧展、今では忘れ去られてしまった郷土料理「箱寿司」教室など古来の歴史と文化を見直し伝承する活動を行った。

また、散策マップ2万枚を作成して配布した他、ホームページ(<http://www.tokitakayama.com>)による情報提供を開始した。さらに各種イベントを実施して青少年に対する歴史教育活動を行い、地域の歴史遺産を次世代へ伝承する取り組みを続けている。特に昨年4回目を迎えた「高山城戦国合戦まつり」は約1万人の人数で賑わい、地元の若者約20名を中心に結成された「土岐高山城戦国武将隊」は各地で演舞を行うなど、若い世代の歴史への興味を喚起するのに十分な働きをしている。

#### ●地域の絆と生き甲斐の創出

高山城跡一帯の里山林が、岐阜県の清流の国ぎふ森林・環境税を活用した「環境保全モデル林整備事業」の事業地に選定され、保存会も今後の活用計画等の検討に参画した。

保存会等、地元の意見を反映し、「歴史的観光資源を活かした森づくり」「子どもたちを育む森づくり」の2つのコンセプトが決定され、これに沿って岐阜県により森林整備や作業小屋等の建設が進められた。

当モデル林「土岐高山城跡の森」が平成28年7月にオープン予定であり、その後は保存会が中心になって史跡探訪、ウォーキングなどを楽しめる県民いこいの場を創出し、カブトムシの観察会、シイタケの菌打ち体験など子供たちへの環境教育を実施する。この活動には地元の有志50名ほどが参加することになっており、地域の絆の再構築と生き甲斐の創出を目指した「地域づくり型生涯学習」を展開する絶好のフィールドとなっている。



歴史講演会に集まった人々



若者を中心に結成された戦国武将隊



カブトムシの飼育に汗を流す方々